

修士論文執筆要項（横書き）

2010. 11. 24改訂

教養デザイン研究科

1. 全体の構成

ワープロまたは手書きで作成すること。

(a) 表題・副題（邦文および英文）

※必要ならば副題をつけること。副題はダッシュ（一）で最初と最後をくくる。

(b) 執筆者名（邦文および英文）

(c) 目次（章，節，項）

(d) 本文（ワープロの場合は，A4判40字×35行，文字サイズは10.5ポイント程度，
手書きの場合は，400字詰原稿用紙を使用すること）

(e) 注

(f) 参考文献

2. 本文の構成

(1) 章・節などの構成の項目分けに用いる番号〈大項目～小項目〉

I II … → 1. 2. … → (1) (2) … → ① ② …

(例)

I 章のタイトル〔章は大項目に相当します。〕

1. 節のタイトル〔節は中項目に相当します。〕

(1) 項のタイトル〔項は小項目または小節に相当します。〕

① 目のタイトル〔目は下位の項目または下位の節に相当します。〕

(2) 箇条書きの例

(a) ……

(b) ……

(i) ……

(ii) ……

3. 本文

(1) 横書きの句読点は〔,。〕〔,。〕〔,。〕の3種類の方法があるが，1つの論文では統一したものを使用すること

(2) 外国の国名，地名，人名などは，漢字による表記が慣例となっている場合（例：東アジアの中華人民共和国や大韓民国など）を除き，原則としてカタカナ書きにすること。なお，一般化していない固有の名称（地名，人名，機関名，会社名など）は，最初に限りその原語（ただし，ローマ字を通常使用しない言語の場合には，そのローマ字化したもの）をカッコ内に付記すること。

ローマナイゼーションの方式は必ずしも統一しない。

(例)

タンダン (Purushototamdas Tandan) は……。タンダンの主張によれば……。

アジア太平洋経済社会委員会 (Economic and Social Commission for Asia and the Pacific, 略称 ESCAP) が……。ESCAP は……。

カオプラ村(Tambon Khaopkra)には……。カオプラ村の人口は……。

(3) 外来語及び、外国（中国を除く）の度量衡や貨幣の単位は、カタカナ書きにすること。

(例) コーヒー、ガラス、メートル、トン、ドル、パーセント、ヘクタール。

ただし、図表では、一般的な単位は記号（m,g,t など）を用いる。中国、韓国などの歴史的な度量衡・貨幣の単位については、漢字書きも可。

(4) 数字は原則としてアラビア数字を使う。ただし、本文中ではコンマを用いず、万以上の数字には万、億、兆などを用いること。

概数の場合は、十数人、数十年などとする。

(例) 23 億 500 万円、1 万 2000 人、第 2 次 5 カ年計画、表 1、0～5 歳

(5) 年は西暦を使用する。特別の暦法による暦（例：イスラーム暦、旧暦、元号）を使用する場合には西暦年を〔 〕で付記すること。初出では、1900 年、2010 年とし、以降は 19 または 20 は略す。

(6) 年度の表示には斜線を用いる。継続年次の場合は（～）を用いること。

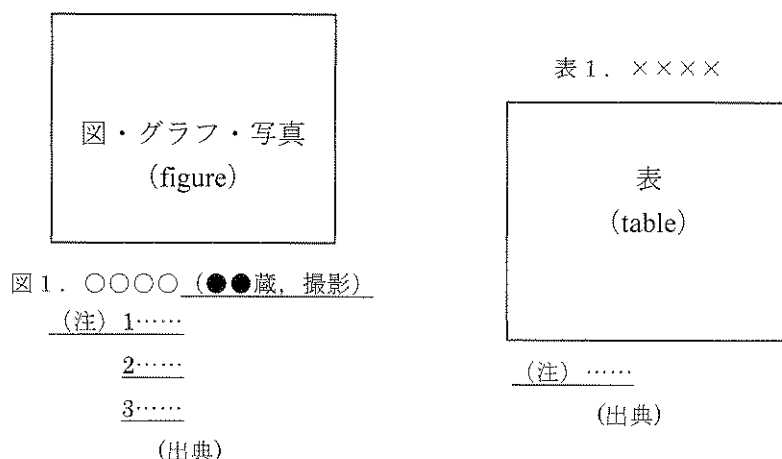
(例) 1970/71 会計年度 1970～75 年

4. 図・グラフ・写真・表

図・グラフ・写真・表には、それぞれ通し番号とキャプションをつけてください。

図・グラフ・写真のタイトルは下に、表のタイトルは上に書いてください。

出典に関しては、①図・グラフ・写真の場合にはタイトルの下に、②表の場合には、表の下（欄外）に記入すること。出典の書き方に関しては、参考文献の書き方に準じます。また、注記が必要な場合には、（出典）の上に番号を付して記載してください。



5. 英文の表題（・副題）および執筆者名

英文の表題（・副題）および執筆者名を記入した用紙を、所定の論文用「扉」の次頁に綴じてください。

論文タイトルの各単語の頭文字は大文字、2 文字目以下小文字。ただし、冠詞、接続詞、

前置詞はすべて小文字。執筆者名は、「姓、名」の順で表記し、姓はすべて大文字、名は頭文字のみ大文字、2文字目以下小文字。

6. 注の書き方

- (1) 注は本文の該当箇所に通し番号 (1) (2) … を用いて示し、論文の最後に「注」の項目を作ってまとめて記載してください。

注の番号は、該当箇所の右肩に上付きに印字してください。

(例) 明治大学和泉キャンパス(1)は、……である(2)

- (2) 出典を示す注記(出典注・引用先の明記)の場合は、著者名(訳者名)『書名』(刊行年、引用・参照ページ)とする。下記を参照のこと。

(例) (1) ……の論点については、シルレル(中村三郎訳)『詩の面白さ』(2010, pp.31-40)による。

7. 参考文献リストについて

参考文献は、「注」の後に「参考文献」の項目を作ってまとめて記載してください。

また、作成に当たっては和文とそれ以外の文献に以外に分けてください。

(1) 和文参考文献の表記法

〈雑誌論文〉

著者名「論文タイトル」,『掲載雑誌名』巻号数,西暦年月,始頁-終頁

(例) 柳田国男「女の力」,『国文学雑誌』第30巻10号,1900年9月,59-70頁

〈単行本〉

著者または編者名『書名』,発行所名,西暦年

(例) 明治太郎『巫女と神道』,東京出版,2005年

〈訳本〉

著者名(訳者名)『書名』,発行所名,西暦年

(例) シルレル(中村三郎訳)『詩の面白さ』,朝日書院,2010年

〈未公刊物(内部資料,学位論文等)〉

著者,印刷年,執筆者,「論文名・資料名」,印刷元(提出先)の順とすること。

〈文書〉

執筆者,作成年,文書名,所蔵機関の順とすること。

(例) 久保田 関東州在勤武官 1925.「上海ニ於ケル罷業ニ関スル件」大正 14 年 2 月 23 日(外務省記録「中国ニ於ケル労働争議関係雑件・上海ノ部」(I.4.4.0.3-2).

〈インタビュー,聞き取り調査〉

引用回数が少ない場合は注で「いつ,どこで,誰が,誰に」聞いたのか説明書きを入れ,リストに載せる必要はない。ただし頻繁に引用するものについてはリストに載せ,本文,注では聴取者ないし被聴取者名と聴取した年を記述すること。

(例) 田中(1998)(本文)

田中一郎 1998.「1998 年 2 月 1 日,〇〇社広報室にて行った筆者(田中)による〇〇社へのインタビュー」.(リスト)

(2) 欧文参考文献の表記法

著者名は、「姓,(カンマ)名」の順で表記し、姓はすべて大文字、名は頭文字のみ大文字、2文字目以下小文字。論文タイトルの前にはコロン(:)を置き、全体を二重

引用符でくくる。各単語の頭文字は大文字，2文字目以下小文字。ただし，冠詞，接続詞，前置詞はすべて小文字。

(例) YAMAIZUMI, Susumu: "Kyôyô'(Culture) and the Japanese Society"

また，雑誌・論文集・単行本・会議録のタイトルは，全てイタリック体にしてください。

〈雑誌論文や論文集収録論文〉

著者名：論文タイトル，雑誌タイトル，（必要な場合は発行所と発行地），巻号数，西暦年，始頁-終頁

著者名：論文タイトル，編者名：論文集タイトル，発行所名（必要な場合は発行地），西暦年，始頁-終頁

(例) - DAMASIO, Antonio, TRANEL, Daniel, and DAMASIO, Hanna: "Face Agnosia and the Neural Substrates of Memory," *Annual Review of Neuroscience*, 13, 1990, pp.89-109.

- HINTIKKA, Jaakko: "A Discourse on Descartes's Method," in HOOKER, Michael (ed.): *Descartes: Critical and Interpretive Essays*, The Johns Hopkins Univ. Pr., Baltimore and London, 1978, pp.74-88.

〈単行本〉

著者または編者名：タイトル，発行所（必要な場合は発行地），西暦年

(例) - DICKENS, Charles: *Hard Times*, The Modern Library, New York, 2001.

- SORELL, Tom (ed.): *The Rise of Modern Philosophy: The Tension between the New and Traditional Philosophies from Machiavelli to Leibniz*, Oxford Univ. Pr., 1995.

〈国際会議録からの引用〉

著者名：論文タイトル，会議録タイトル，開催地（国），開催期間（年月日），始頁-終頁

(例) - SAKAI, K., KATAYAMA, T., WADA, S., and OIWA, K.: "Perspective Reversal Caused by Chaotic Switching in PDP Schema Model," in *Proceedings of the 1993 IEEE International Conference on Neural Network*, San Francisco, March 28-April 1, 1993, Vol.3, pp.1938-1943.

〈新聞・雑誌などの場合〉

個々の発行年・月・日を参考文献リストに明示する必要はありません。

新聞名，雑誌名などを列挙してください。

(3) インターネットの表記法

当該ページ URL

サイト名，該当ページの管理者名もしくは著作権名，閲覧年月日

(例) <http://www.asahi.com/edu/lifelong/K2001051400355.html>

(『asahi.com』朝日新聞社，2002年2月20日閲覧)

(4) 文書（外交文書，法律条文等）の場合

執筆者（作成機関），作成年，文書名，所蔵機関を表記する。法律・法案名はイタリック体にするか下線をひくこと。

(例) United States Educational Foundation for Egypt 1951. "Annual Program Proposal, 1952-53." U.S.Department of State, Washington,

D.C.Mimeographed.

Cooke,H.B.S. n.d. "South African Pleistocene Mammals in the University of California Collections." Typescript.

U.S.House 1985. *Food Security Act of 1985*. 99th Cong.,1st sess., H.R.2100.

□上記の例は、本文中ではそれぞれ、U.S.Educational Foundation for Egypt(1951,28), Cooke(n.d.,4-7), U.S.House(1985)のように表記する。法律名は本文中で (*Food Security Act of 1985*) と表記してもよい。

(5) 政府刊行物 (年鑑等)

国家統計局総合司編 1985. 『中国城市統計年鑑 1985』北京 中国建築工業出版社。

U.S., Dept. of State 1954. *Foreign Relations of the United States, 1943*.

Washington, D.C.: U.S.G.P.O.

□本文中では国家統計局(1985), U. S. Dept. of State(1954)とするか、刊行物名を出して (『中国城市統計年鑑 1985』), (*Foreign Relations of the United States 1943*), または(*FRUS 1943*)と表記する。後者の場合、リストでは以下のように表記する。

『中国城市統計年鑑 1985』国家統計局総合司編 北京 中国建築工業出版社。

Foreign Relations of the United States, 1943. U. S., Dept. of State, Washington, D.C.: U.S.G.P.O.

8. 論文要旨について

修士論文とは別に、3,000 字程度で添付すること。

9. 目次について

作成に当たっては、以下に注意してください。

(1) 目次は、章、節、項までとし、項の下「目」までは目次に反映させる必要はない。

(2) 本文のあと、「注記」「参考文献」についても目次に反映すること。

(例)

目 次

はじめに

I アジアの中間層論の台頭の背景	・・・ 1
1. アジア中間層の類型	・・・ 8
(1) 国家論アプローチ	・・・ 12
(2) マルクス主義アプローチ	・・・ 15
(3) 第3のアプローチ	

2.

II 1980年代のアジア中間層論と社会構造変化

1.

2.

おわりに

注

参考文献